

# プラチナ未来人財育成塾

未来のリーダーを育成することを目的として開催されている「プラチナ未来人財育成塾」。毎年各中学校の代表生徒を派遣しています。広報きくち12~3月号で参加した生徒の報告書を紹介しします。

参加報告

## プラチナ未来人財育成塾に参加して

泗水中学校2年 岩下元太さん



私がプラチナ未来人財育成塾に参加した目的は、自分自身と向き合い更にリーダーとしての力など様々な力を身に付けたいと思ったからです。また、新たな知識などを身に付ける機会にしたいと思ったからです。

4日間の研修を受け、多くの知識や力を身に付けることができました。この4日間で自分がリーダーとして必要な力だと思った要素は、身の周りをよく見る力、理想の未来と現状を比べ、よく考える力、行動し周りに伝える力などです。

まず、身の回りをよく見る力についてです。リーダーは常に先のことや予想してみんなを動かすことが仕事だと考えます。そのなかでも、周りを見ることができなければ、先のことも分からず決して良い方向へは転換していかないと思います。また周りをよく見ることができれば自分に優位に作用することができるとも思いまします。

次に、理想の未来と現状を比べよく考える力です。リーダーは、みんなを良い方向へ引っ張っていく必要があります。そのなかで、良い未来

とは何か、なりたい未来とはどんなものかを想像し、実行していく必要性を強く実感しました。現状を見て比べ、いかにその未来に引っ張っていくかを考える力が大切だと学びました。高村先生がおっしゃっていたことがリーダーとしてとても大切なこととして心に残っています。「まずありたい未来を考え、現在から有り得る未来を考え、その二つの未来の差をどうやったらなくせるのかを考えていくこと。」この姿勢がリーダーとしての資質だと強く印象に残っています。

最後に、行動し周りに伝える力です。この力こそ、リーダーとして必要不可欠な力であると感じました。どんなに完璧なプランや知識があつたとしても最後行動へ移すことができなければ、それはなにも変えることはできず、結局は一步も良い方向へ進むことはできないと思うからです。逆に、よく考えたことや良い知識を持って行動に移すことができれば何かしら良い方向に進むと思えます。それに加え、伝えたり共有することができれば、その人たちがリーダーのように次の行動をし始める

きっかけになるかもしれません。大切な力として心に留めておきたいと感じています。

私は、この4日間で様々なことを深く見つめ、考えることができました。なりたい未来と、なり得る未来との差をなくすために動くということは、例えば二酸化炭素削減のように現状などを知ることにもなり、どんな場面でも必要な力だと思いました。山極先生がおっしゃっていたように人は集団で協力することが大切であり、大きな問題においてもみんなが協力して改善に向かって取り組んでいく必要があります。この4日間で身に付けたことをうまく活用してリーダーとしての資質・能力を更に高めていきたいと思えます。



# プラチナ未来人財育成塾

未来のリーダーを育成することを目的として開催されている「プラチナ未来人財育成塾」。毎年各中学校の代表生徒を派遣しています。広報きくち12~3月号で参加した生徒の報告書を紹介しします。

参加報告

## 新たな一步は新しい自分との出会い

泗水中学校2年 三由友理恵さん



今回プラチナ未来人財育成塾に参加し、多くの学びを得ると同時に、自らの新たな成長にもつなげることができたと思います。さまざまな先生方の講義を通して、「未来の社会」に目を向けるなかで、新たな視点で学び、気づいたことについてまとめてみました。

江間先生の講義では、「人工知能と私たちの社会」というテーマで学びました。人工知能技術と差別や偏見に関する事象を考える中で「人工知能というシステムは参考として使用し、総合的に考えて人間が最終判断をする」ということの必要性について理解しました。人工知能が発達している今、技術の特性を理解して賢く使うこと。それだけではなく、人間の特性も十分理解して、人間と機械の協同作業で未来を作っていくことが大切であると考えました。

次に菊池先生の講義では、「多様な解を考え続ける力とは」をテーマに学びました。解は一つではないからこそ、様々な解を導き出す力が必要で、そのためにはシステム思考で未来を考えていくことが重要であると学びました。未来のために今の「自

分」に目を向け、「すべきこと」、「できること」、「したいこと」の3点の基準で高めていく。そのためにも、勉強と訓練の積み重ねという「今」が大切であるという講義は、自分の現在を振り返る機会にもなりました。

高村先生の講義では、二酸化炭素排出量を減らしていくことの重要性を学びました。地球温暖化を食い止めるには、自分たちの生活を振り返り、見直していくことが大切であることが分かりました。「私たちがやりたい将来で、どんな改善をするか、変えていくか、知恵を絞る必要がある。」という言葉は特に印象に残っています。

最後に加藤先生の講義では、「動き出す力」をテーマに学びました。「農業」と「何か」を掛け合わせて「幸せ」を作り出すという視点を持つ様々なチャレンジを知りました。いろんな課題を解決していくためには、まず課題の芯を作ることが大切であると述べられています。そのためには社会の仕組みを知り、いろんな人と話すことが必要だということに特に学びました。

これらの講義を通して、「未来の社会」に目を向けていく中で、多くの知見を広め、考えを共有することができました。知らないことを知る喜びがそこにはありました。学ぶことの楽しさを実感できたのは、今回の学びの大きな収穫でした。

今回の学びの場では、班の仲間がうなずいて反応を積極的に示してくれ、大学生にも私の意見を褒められるなど、コミュニケーションに心地よさを感じると同時に、とても嬉しく、また少し自信をつけるきっかけにもなりました。初めての経験には緊張や不安が伴います。その一步はとも勇気がいります。しかし、その先には新たな学びと共に、新たな自分の姿がありました。自分が思っているよりも広い世界がたくさんあり、そこに思いつき飛び込むことの大切さを今回の機会を通して学び得ることができました。これが私にとって一番大きなことでした。このような貴重な機会をいただいて本当にありがとうございます。これからの学校生活でも、あらゆる場面で初めの一步を大切にして取り組んでいきます。